

能 狂言

土蜘蛛 附子

第24回

能 土蜘蛛

日時 令和6年9月11日(水) (開場) 午後1時30分
(開演) 午後2時00分

会場 渋川市民会館 大ホール
自由席(後方350席のみ)

入場料 2,000円

チケット取扱: 渋川市民会館 7月18日(木)から
市役所第二庁舎内生涯学習課 7月16日(火)から

詳細はこちら



主催/渋川市教育委員会 主管/渋川市文化協会 後援/(公財)渋川市まちづくり財団
問合せ先/渋川市文化協会事務局(渋川市役所生涯学習課内) TEL 0279(22)2500

第二十四回 しぶかわ能 番組

令和六年九月十一日（水） 午後二時開演 渋川市民会館

おはなし 下平 克宏

能装束実演

楽器実演

狂言

附子

太郎冠者 野村 裕基

次郎冠者 金澤 桂舟

主人 福田 成男

休憩（十五分）

能

源頼光 大槻 崇充

従者 新江 和人

胡蝶 金子 聡哉

僧・蜘蛛 下平 克宏

土蜘蛛

独武者 則久 英志

船頭 内藤 連

大鼓 柿原 光博 太鼓 林 雄一郎

小鼓 飯富 孔明 笛 藤田 貴寛

後見 大松 洋一

松木 崇俊 田口 亮二

地謡 木原 康太 藤波 重孝

武田 崇史 川原 恵三

藤波 重彦

働き 小檜山浩二

終了予定 午後四時

◆附子（ぶす）

ある家の主人が、「この桶には、附子という猛毒が入っているから近づくな」と使用人の太郎冠者と次郎冠者に言いつけて外出します。桶の中身をのぞくと、とても美味しそうに見えます。附子の正体は砂糖で、二人は砂糖を食べ尽くします。主人が嘘について隠していた砂糖を食べた二人がとった行動とは。

◆土蜘蛛（つちぐも）

病に臥す源頼光のもとへ、侍女の胡蝶が、処方してもらった薬を携えて参上します。ところが、頼光の病は益々重くなっている様子です。

胡蝶が退出し、夜も更けた頃、頼光の病室に見知らぬ僧が現れ、病状はどうか、と尋ねます。不審に思った頼光が僧に名を聞くと、「わが背子が来べき宵なりささがにの」と『古今集』の歌を口ずさみつつ近付いてくるのです。よく見るとその姿は蜘蛛の化け物でした。あつという間もなく千筋の糸を繰り出し、頼光をがんにがらめにしようとすののを、頼光は、枕元にあった源家相伝の名刀、膝丸を抜き払い、斬りつけました。すると、僧はたちまち姿を消してしまいました。

騒ぎを聞きつけた頼光の侍臣独武者は、大勢の部下を従えて駆けつけます。頼光は事の次第を語り、名刀膝丸を「蜘蛛切」に改めると告げ、斬りつけはしたものの、一命をとるに至らなかった蜘蛛の化け物を成敗するよう、独武者に命じます。果たして蜘蛛の化け物の正体とは。そして、戦いはどのような結末を迎えるのでしょうか。